2024 年 4 月 29 日

課題名：レジオネラ肺炎診断におけるリボテスト®レジオネラと
イムノキャッチ®-レジオネラの有用性の比較検討
～多施設共同前向き観察研究～

◆研究の目的と概要◆

レジオネラ肺炎は、治療の遅れが予後の悪化につながるため早期診断が重要とされています。レジオネラ肺炎の迅速診断検査として、全血清型の *Legionella pneumophila* を検出可能なリボテストレジオネラが 2019 年 2 月に発売され使用されていますが、既存の尿中抗原検査キットであるイムノキャッチレジオネラと診断の性能を比較した検討はありません。そこで、レジオネラ肺炎診断における両キットの性能を比較検討し、*L. pneumophila* 血清 1 型と 1 型以外のレジオネラ肺炎の臨床的特徴も検討します。

◆対象となる患者さん◆

2020 年の 11 月から 2028 年 12 月の間に、市中肺炎と診断され当院で入院治療を行った方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患、バイタルサイン、起炎菌、血液検査、肺炎重症度、治療内容、ICU 入室の有無、予後

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2020 年 10 月 22 日以降

◆研究方法◆

本研究は、診療録(カルテ)等からの情報を利用します。

◆研究実施機関ならびに責任医師◆

静岡市立静岡病院　呼吸器内科　山田　孝
彦根市立病院　呼吸器内科　岡本　菜摘
京都大学医学部附属病院　呼吸器内科　伊藤　功朗
洛和会音羽病院　呼吸器内科　土谷　美知子
公益財団法人田附興風会医学研究所　北野病院　呼吸器内科　井上　大生
神戸市立医療センター西市民病院　呼吸器内科　藤井　宏
日本赤十字社和歌山医療センター　呼吸器内科　池上　達義
明石医療センター　呼吸器内科　岡村　佳代子
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院　呼吸器内科　伊藤　明広

＊　研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊　本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合せ先までメールでご連絡ください。

【問い合せ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
呼吸器内科　研究責任者　　伊藤　明広
E-mail:　kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
  （他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明